

平成 28 年度 第 2 回たつの市まち未来創生戦略推進委員会 協議録

委員	空き家対策については、家を欲しい人と家をいらない人を中継ぎする仕組が必要です。市役所と不動産業者が連携するようなシステムを作れば空き家対策は進むのではないかと思います。
委員	それぞれの事業が点で、線、面、立体的なものになっていないと感じます。高校や大学との連携、教育施策で培われた若い力を就職、結婚、子育てと順番につないでいくようにすればいいと思います。何かをすれば次はこれといった紹介ができるような連携が必要であり、ひとつの部署だけでなくつなげていく仕組みが必要です。
委員長	シミュレーションを行い市民の方が見て分かりやすいものや市役所の中でもどういう流れで協議していくかというシステム構築が必要です。
委員	市内に大手企業もあり、たくさんの大学生が採用されていますが、採用された大学生はたつの市出身ではなく、市外の大学生がたつの市へ就職しています。高卒だけに目を向けるのではなく、たつの市から出て行った大学生を市内に呼び込むことにもっと力を入れて欲しいです。産前・産後のサポートについて、認定子ども園には対象となる世代の人が多く集まるので、そこでサポートする事業をやらなければならないのではないでしょうか。こども園で就学後の生活についても知っていただければ、意外と多い小学校へ入学時の転出も減るのではないかと思います。
委員	婚活について取り組んでいますが、お祝いを渡すなどして後のサポートが必要だと考えます。
委員	放課後補充学習推進事業は、4名からと聞いていますがどうですか。
事務局	放課後児童クラブのことだと思いますが、人数が少ないところはバスでつないで人数を確保する方法を検討しています。
委員	市内醤油業者で「ゆめにしき」という麦を新宮町で作っていることを知りました。他の地域でも生産すれば良いのではないかですか。
委員	酒米の品種で需要が限られるため、生産拡大は厳しいと思います。
委員	こども未来応援塾では、自治会も協力していきたいです。
委員	商工会で 300 名の参加をいただいて婚活イベントを実施します。このような取組で、人口減少に少しでも歯止めをかけられればいいと思います。商工会として、既存の企業が事業拡大したいときに農地の規制が多いのが難点です。現在、農振除外手続きは、1年に1度しか申請の受付がなく、以前のように2回に増やして欲しいです。
委員	放課後補充学習事業の講師は誰がなるのですか。
事務局	元学校の先生や教員 OB を想定しています。
委員	こども未来応援塾との違いは何ですか。
事務局	講師の想定は同じですが実施時期が夏休みとなります。
委員	概ね資料の事業の進め方で良いと思います。収入が思うようにならないから結婚に至らないと思うので、この問題の解決に力を入れていただきたいです。
委員	地域支えあいステップアップ事業の詳細を知りたい。
事務局	新宮町のある地区で独居高齢を徹底的に見守りしようとしています。いいモデルができている

	ので、それを全市に広めようとする取り組みで、見守りだけでなく家から呼び出そうという仕組みがこの事業には含まれています。
委員	<p>ビデオやプランをみても市民向けには、決め細やかなものとなっていますが、子育て施策とかに良いものがあるのに、市外から人を呼んでくるのに、果たしてつながるものになっているのでしょうか。</p> <p>たつの市は、魅力的なものが多くあるのに外向けの発信ができていない気がします。</p> <p>たつの市 PR 事業とありますが、これをしたからといって人がどっと来るとは思えません。ターゲットを絞って、市域外から人を呼び込むような外向けの発信を充実されてはどうかと思います。</p>
委員長	新快速を岡山までや大阪まで行く様にすれば必ず人口は増えると思いますが。
事務局	おそらく新幹線に乗らなくなるので難しいのではないかと思います。県境を越えると管轄がバラバラなので、連携できないのが難点です。
委員	PDCAにおいて実績をきちんと確認し評価して、事業を計画しているのですか。
委員長	もうちょっと時間をおいてみないと評価は難しいです。
委員	<p>企業誘致を行った場合に人手不足という問題が起こる場合があります。</p> <p>企業が移転に合わせて、人を連れてくる形の誘致も検討してはどうですか。</p>
委員	<p>本社機能の誘致について、利用が進まなかつたから制度を拡充するとありますが、なぜ利用が進まなかつたかの分析を行う必要があります。</p> <p>事業の拡充や廃止は必要だと思いますが、申請がなかつたからというのではなく、何で申請がなかつたのかという分析が必要だと思います。</p> <p>子育て包括支援センターを立ち上げるとありますが、事業後には、利用されているか、利用が少ないのであれば、何で利用が進まないのかという分析が必要になってきます。</p>
委員	<p>人口増加を主たる目的とするならば、流出を防ぐのと流入を増やすことです。</p> <p>全国展開する企業は、「地域限定型採用」と「それ以外の採用」があり、「それ以外の採用」の者は、就職しても結局市外に出てしまう可能性があります。</p> <p>「地域限定型採用」の人たちを近隣との競合の中でたつの市に定住してもらうためには、その人達にたつの市の良さを PR することに注力する必要があると思います。</p>
委員	首都圏合同就職説明会とあるがどのような事業なのですか。1市で、首都圏で説明会を開催しても人を集めるのは難しいと思います。
事務局	県が行う事業に参加するもので、市内の4社が参加予定です。定住自立圏で、2市2町で合同就職説明会を開催する予定です。
委員	<p>播磨という広域なくくりでやらなければならぬ事業があります。</p> <p>播磨で就職したい若者が結構多いですが、どんな企業があるのか分からぬのでもっと PR するべきではないでしょうか。</p> <p>空き家問題で、たつの市では景観地域にできた空き家と田舎にできた空き家とでは価値が違うので分けて考えなければならないと思います。</p> <p>龍野は、寅さんの映画に出たときの町と景観が変わっていないことはすばらしいです。後は宣伝の仕方だと思います。</p> <p>20年後に住んでいる若い人に意見を聞いたほうがいいと思います。そうしなければ、絵に描</p>

	<p>いたもちのようになる可能性があります。</p> <p>龍野神社や野見宿禰などを活かした、あまり知られていない資源を活かしたまちづくりを行えばいいのですか。</p> <p>例えば、龍野の町中に車は入れないようにする。住んでいる人は不便かもしれないがそういう覚悟がいると思います。世界中を見ても車が入れない町は沢山あります。</p>
委員	<p>事業は、廃止するものや統合するものがあつていいと思います。事業が縦割りのような気がします。関連し合う事業が、実行する上で出てくると思うので、横との連携が必要な事業は、連携しなければ達成に結び付きにくいと思います。</p> <p>市では、有意義な意見の出る会議などをしていますが、市外の人は知りません。</p> <p>市内の人で終わるのではなく、外にSNSやメディアを活用し発信しなければ、目標達成には結び付きにくいと思います。</p>
委員	空き家対策について、相続の問題などで名義人の整理が必要なものがありますが、この整理を支援することは行政の役割ではないでしょうか。
事務局	空き家の情報は調査してあるが、活用できるものと除却等すべきものがあるので、これらの整理も必要と考えます。
委員	<p>就職については、高校などの同窓会などを活用し、地域に愛着のある人にダイレクトメールを贈るなど、ピンポイントで攻めていかないと効果がないと思います。</p> <p>最近の進学は、近くが多いと聞きますが、進学先の状況を分析して、そこに働きかけを行うことが良いのではないでしょうか。</p> <p>高齢者の見守りの話がありましたが、お年寄りだけでなく、そこに若い母親なども参加するようすれば、子どもを預かってもらえ、人間関係を築くことになります。</p> <p>子育てに悩んでいる若いお母さんたちがお子さんを連れて一緒に相談できるような雰囲気づくりをしないといけないと思います。</p> <p>高知では、地域のお年寄が採れた野菜を持ち寄って販売しています。それが観光スポットや高齢者の生きがいとなっています。</p>
委員	地域で家族葬が行われるようになり、地域のつながりが希薄になっています。
市長	<p>たつの市は熟睡状態、安眠状態で、豊かであり、切実感が少なく感じます。</p> <p>島根県などは、切実さから地方創生が始まっています。</p> <p>創意工夫情熱のないところに進化の恩恵はありません。</p> <p>切実な課題こそが未来へのチャンスであると考えます。</p> <p>皆さんのエネルギーで進めるようにご支援をいただきたいです。</p>
副委員長	皆さんから様々な意見があつたので、それをまとめて今後につなげるのがこの会の目的です。
委員	今、求人は増えていますか。
委員	有効求人倍率・求人は増えています。
委員	全国的にも求人は増えていて、2018年問題で深刻な人手不足です。
委員	どこの企業でも機械化が進んでいて後継技術者の要請が強いです。会社の中で人手不足のところと余っているところがあり、社内でも共有できていないのが現状です。
委員長	従来は、景気によって循環があつたが、今は景気に関係なく、慢性的な人手不足となっています。

	生産年齢人口が不足していますが、生産年齢人口の対象を見直す動きがあります。働く気のあるお年寄りのことを未勞（みろう）といいます。働く気があれば70歳過ぎまで働けるので、そういう方が活躍していただける場が必要ですし、そういう方にも働いてもらわないといけない程、人手不足が進んでいます。
委員	東京に行くと、働いている人は、外国人が多いです。
委員長	外国人の人たちを生かしていかなければならない時代になっています。
委員長	今日の意見は可能な限り反映させながら、来年度の新規事業としていくことで、了承していました